

&lt;認知症対応型共同生活介護用&gt;

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4670103102
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム 明和の家
訪問調査日	平成20年9月10日
評価確定日	平成20年10月10日
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670103102		
法人名	医療法人 春風会		
事業所名	グループホーム 明和の家		
所在地 (電話番号)	鹿児島市明和5丁目1番15号		(電話) 099-218-9121
評価機関名	特定非営利活動法人 シルバーサービスネットワーク鹿児島		
所在地	鹿児島市真砂町34番1号 南光ビル303号		
訪問調査日	平成20年9月10日		

## 【情報提供票より】(平成20年8月16日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成15年2月19日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	7人, 非常勤 8人, 常勤換算 14人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2 階建ての	1 階 ~	2 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000~30,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷 金	有( ) 円) 無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円) (無)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり			円

## (4) 利用者の概要( 8月16日現在)

利用者人数	18 名	男性	3 名	女性	15 名	
要介護1	3 名	要介護2	7 名			
要介護3	6 名	要介護4	2 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	84.5 歳	最低	77 歳	最高	96 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	田上記念病院 西歯科医院
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、市街地と桜島を一望できる風光明媚な場所に建てられている。リビングには昔馴染みの家具や装飾品がしつらえてあり、落ち着いた佇まいである。職員の定着率が高く、自己評価や外部評価を通して現状と課題を認識しており、良質なケアを提供できるように一丸となって取り組んでいる。健康や医療面の充実のために、看護師・歯科衛生士を配置して日々の管理を行うと共に、かかりつけ医との連携を強化することで、入居者及びご家族に大いなる安心を提供している。自治会にも加入しており、地域行事に参加したりして日頃から交流することで、ホームへの理解と協力を得られるように努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	ご家族等への報告内容については、具体的な改善計画を作成して、ホーム便りや職員の異動状況に加えて、報告内容についてのヒアリング調査を実施して内容の充実に取り組んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価や外部評価の意義を理解した上で、職員全員で取り組んでいる。各職員から出された意見を協議しながら、全体の取りまとめを行っている。課題に対しては、改善計画シートを作成して段階的に取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催され、各委員からは、議題に対してそれぞれの立場から多くの発言がある。様々な意見について職員間で共有化され、新たな取り組みに活かされている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	毎月の報告内容について、ご家族から意見や質問を出していただき、さらなる内容の充実に取り組んでいる。ホーム内に設置してある意見箱の位置を工夫したり、普段からご家族とのコミュニケーションを大事にして、意見の出やすい雰囲気づくりに努めている。また、アンケートを実施して、直接話しにくい点についての意見を求め、出された意見については検討し、フィードバックしている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の自治会に加入し、回覧板を届ける際には入居者も同行して挨拶を交わすなど、普段からのつき合いを大切にしている。地域で行われる催し物や学校行事に参加したり、地域の方をホームへ招いたり、相互に交流が行われている。また、運営推進会議の委員として参加してもらい、ホームの実情に対して理解をいただいている。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	4670103102	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づき医療法人 春風会</b>					
1. 理念とグループホーム 明和の家					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人内で複数の事業所を運営し、地域密着型サービスとして、入居者が地域の中で暮らし続けられるように支えて行くことを念頭に置いた、共通の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	入居者が居心地良く過ごせるための生活環境整備をはじめ、地域住民や民生委員との連携強化、食事摂取や口腔ケア充実のための専門職配置など、理念の実践に向けた取り組みが行われている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	2008/9/10 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の自治会に加入し、回覧板を届ける際には入居者も同行して挨拶を交わすなど、普段からのつき合いを大切にしている。地域で行われる催し物や学校行事に参加したり、地域の方をホームへ招いたり、相互に交流が行われている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価の意義を理解した上で、職員全員で取り組んでいる。各職員から出された意見を協議しながら、全体の取りまとめを行っている。課題に対しては、改善計画シートを作成して段階的に取り組んでいる。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に1回定期的に開催され、各委員からは、議題に対してそれぞれの立場から多くの発言がある。様々な意見について職員間で共有化され、新たな取り組みに活かされている。		

外部	自己	4670103102	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市担当者とは運営推進会議以外にも、入居者の生活課題や支援困難ケースについて窓口へ出向いて話し合う機会を持つなどして、ホームの現状や今後の見通し等について報告や助言を求めながら連携を深めている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理等について、毎月詳細な報告書が送付され、至急の用件については随時連絡している。ご家族からは、報告内容についての意見や質問を出していただき、さらなる内容の充実に取り組んでいる。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム内に設置してある意見箱の位置を工夫したり、普段からご家族とのコミュニケーションを大事にして、意見の出やすい雰囲気づくりに努めている。また、アンケートを実施して、直接話しにくい点についての意見を求め、出された意見については検討し、フィードバックしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	この1年間については退職者はなく、異動も1名のみで馴染みの職員によるケアが実践されている。職員の異動がある場合は、十分な引き継ぎ期間を設けて、入居者への影響が最小限に抑えられるような体制がとられ、ホーム便りにてご家族へも報告されている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	入職時の新人研修、現任職員に対する事業所内勉強会、法人内研修、外部研修と、全職員が学習機会を与えられている。参加できなかった職員に対しては、報告書などを使い伝達し共有化が図られている。	○	事業所内外を問わず研修に参加できる環境は十分に整っていることから、今後はさらに、個々の職員の経験・立場・習熟度などを勘案した計画的な職員育成に取り組むことが期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県及び市のグループホーム連絡協議会に加入し、研修会へ参加したり交流する機会を設けている。また、研修の受け入れや、他のグループホームへ研修に出かけることで、質の向上へ向けて取り組んでいる。		

外部	自己	4670103102	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者には、当ホームだけでなく他のグループホームの見学も勧め、雰囲気の違いを比較・検討してもらっている。また、こちらからも出向き、本人及びご家族、関係者から情報収集を行った上で、入居にあたり混乱が生じないように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	認知症ケアの基本に立ち、入居者と短時間でも語り合い触れ合う時間をつくり、一人ひとりが思う生活習慣やこだわりを体現できるように支援している。また、その中から、職員も学ぶ機会を得るという謙虚な姿勢で、共に支え合いながら生活している。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	暮らし方への意向や思いについては、日常生活のお風呂や散歩といった場面での何気ない会話の中から汲み取り、経過記録などに記録している。さらに、申し送りの場面等を通じて、職員全員で共有を図っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、ご家族から暮らしへの意向を聞きとり、今後の課題解決や思いの実現に向けて、誰がどのような役割を果たしていくかを、サービス担当者会議において関係者で話し合い介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月、モニタリングを実施して、入居者の状態の変化について観察を行っている。スタッフミーティングにおいては、入居者情報を共有し、生活状況の変化に対して介護計画見直しの必要性を検討している。		

外部	自己	4670103102	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、ご家族のその時々起こる要望に対応するため、医療連携体制の整備や歯科衛生士の配置、専門病院への受診支援等を行っている。事業所単独で困難なことも、地域との連携や法人グループからの協力を得て柔軟な対応を行っている。		
を					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	これまでのかかりつけ医を、継続できるように支援している。通院や往診支援の中でかかりつけ医との連携を行い、日常生活における入居者への対応方法について助言を受けている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居後の早い段階から、本人及びご家族の重度化へ向けた意向を聞き取り、ホームの体制を勘案した方針の統一と共有が行われている。その後も、繰り返し意向を確認しながら、医師との意見交換も行い方針の共有に努めている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の尊厳を傷つけることのないように、羞恥心やプライバシーに配慮したケアを実践している。入居者の記録物や個人情報については、厳重な管理体制のもと適切に取り扱っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者がその日どのように過ごしたいかを尋ね、健康状態やケア体制などを考慮した上で、業務を優先することなく、一人ひとりに合ったペースで行動できるように配慮している。		

外部	自己	4670103102	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材の下ごしらえや後片付け等、入居者それぞれの力に合わせて参加していただいている。食事内容は皆さんの好みに合わせて、職員も同じテーブルを囲みながら食事を楽しんでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は決まっているものの、毎日入浴できる体制にある。入居者の希望や状態に応じて時間帯を工夫するなど、入浴拒否される方に対しても、その都度適切に対応し支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者の生活歴や特技、趣味等について十分に情報収集した上で、得意とすることや楽しみにしていることを生活の中に取り入れて、一人ひとりに合った喜びのある日々の支援に努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近隣へ回覧板を届けに出かけたり、敷地内の散歩や庭でお茶を楽しむなど、日常的に屋外に出るようにしている。また年に数回は、遠方への外出や外食を楽しむ機会を設けている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日常的に施錠は行われておらず、ご家族へも理解を求めている。落ち着かれない入居者にも対応を工夫して、地域の警察や住民の方からの協力を得られるように、話し合いの機会が持たれている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を定期的実施しており、万が一の場合に備えて迅速な対応方法を学んでいる。また、地域の方々からも協力が得られるように、運営推進会議や民生委員を通じた依頼が行われている。		

外部	自己	4670103102	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立については、バランスやカロリーに配慮されたものとなっている。また、法人の管理栄養士からの助言も定期的に行われている。状態の悪い入居者に対する代替食の用意等、その時々にあった柔軟な対応が行われている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔ながらの家財道具をしつらえて、風情のある空間を演出している。大勢で賑やかに過ごしたり、一人静かに過ごせるスペースづくりにも工夫が見られる。換気も行き届いており、テレビの音量や照明も、入居者が不快に感じないレベルに調整されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者がこれまで使用していたものが多く持ち込まれ、思い出の写真や手作りのものが装飾されることで、それぞれの個性的な居室空間となっている。		